

あけましておめでとーうございませす!



『第5回「SLばんえつ物語」号 フォトコンテスト』 最優秀賞「夏雲」

にいつホサト ステーション

2025. 1

vol. 886



毎月1回
発行

発行所 / 新潟商工会議所
編集発行人 / 渡辺 稔

〒956-0864
新潟県新潟市秋葉区新津本町3丁目1番7号
TEL 0250(22)0121 FAX 0250(25)2332
Email: n-cci@fsinet.or.jp
URL http://www.niitsu.or.jp/



新年のご挨拶

新潟商工会議所会頭

前田 正実

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。会員の皆様には、日頃より新潟商工会議所の活動にご支援を賜り、心より感謝申し上げます。令和7年が会員の皆様並びに秋葉区にとって健やかで実り多き一年となりますよう祈念いたします。

さて、一昨年に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、感染症対策も大きく転換されました。しかしながら、依然として感染の波が繰り返されており、経済や地域社会に及ぼす影響は決して小さくありません。この影響に加え、原材料費や燃料費の高騰も重なり、各事業所の運営環境は厳しさを増しています。こうした厳しい経済状況が長期化する中、いかに地域経済の回復・成長を目指していくか、これからも当商工会議所が「一丸」となり、支援策や取り組みを強化してまいりたいと考えております。

さらに、昨年は衆議院の解散総選挙が実施され、国政の転換期とも言える大きな局面を迎えました。新政権が発足した今、地域経済の課題に迅速かつ的確に取り組むことが求められています。加えて、昨年1月には能登半島地震、9月には能登水害が発生し、多くの方が亡くなられ、多大な被害が出ました。被災地の方々には心からお見舞い申し上げます。今後同様の災害に備え、地域全体での防災体制の充実を図っていく必要性を痛感しております。

このような厳しい環境下においても、当所の会員数は僅かながら増加しており、当所への期待がますます高まっております。当所では、地域の皆様との連携を深め、秋葉区の魅力を発信し、地域の活性化を目的とした様々なイベントを開催しております。「新津あおぞら市場」、「にいつ夏まつり」、「にいつ鉄道まつり」、「にいつハロウィン仮装祭り」、「にいつナイトステーション(酒っ衆っ歩っば)」、「にいつポッキリパスポート」といった催し物は、地域に賑わいと活気をもたらす貴重な場となり、多くの方々に足を運んでいただいております。こうした取り組みが秋葉区全体の経済の活性化に繋がると信じ、今後も皆様と共に一層力を注いでまいりたいと考えております。

また、当所に設置しております「にいつまちづくり会議」では、「まちなか再生」、「定住人口促進」、「交流人口拡大」の3つの分科会に分かれ、地域の発展に向けた活発な意見交換が行われています。この議論を踏まえ、当所は、国、新潟県、新潟市へ政策提言を行っています。中でも、新潟薬科大学の伊藤副学長が提唱された「食料生産基地構想」は、地域経済の基盤強化に向けた重要な一歩と考えております。この構想に基づき、秋葉区役所と共に関東や東海方面の大手食料品製造業を訪問し、企業の誘致活動に取り組みしております。将来的には、地域内での工場誘致を実現し、地元雇用の拡大を図るとともに、持続可能な経済発展の基盤を築きたいと考えています。加えて、今年には新潟薬科大学との連携強化や地元工業高校との協力を進め、地域の未来を切り開くための具体的な行動を推進していく所存です。

一方、私が会長を務めます「秋葉区みらい会議」が連携し、昨年新潟市が挑戦した国の「脱炭素先行地域事業」は、残念ながら不採択となりましたが、持続可能な地域社会の構築に向けた取り組みを引き続き推進してまいります。脱炭素社会への移行は避けられない課題であり、未来の世代に誇れる地域を創り上げるためにも、地域全体での協力が必要とされています。今後も、地域内の企業・団体と連携しながら、持続可能な地域経済の実現に向けて歩みを進めてまいりたいと存じます。

最後に、本年10月をもって私の会頭としての任期が終了いたします。続投の是非については現時点で決めかねておりますが、地域に対する私の想いは一層深まるばかりでございます。今後も地域の発展を目指し、後継者の育成にも注力しつつ、皆様と共に力を合わせ、より良い秋葉区を築いていく所存でございます。今後も当商工会議所の活動に変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。